

# 通学&オンラインの組み合わせで自分のペースで学べる通信制高校 第一学院

いちばんのいち

# 第一学院の教育で成長実感

第一学院は、全国に53（2021年7月現在）のキャンパスと台湾に提携校を持つ、通信制高校（広域通信、単位制）だ。「生徒第一」を教育理念とし、夢の実現と学業の両立をさまざまな角度からサポートする教育を実現している。多彩な教育スタイルで通学12コースの他、オンラインで学べるコースもある。全国7584人（同5月現在）の生徒が在籍しており、一人ひとり、それぞれの状況や目標に合わせた教育を実践している。世界を舞台に活躍する卒業生も多く、東京五輪には4人が日本代表として出場した。



第一学院では「1-1の教育」を理念としている。一人ひとりの生徒と向き合い、一人ひとりの幸福を願い、一人ひとりの生徒を育む指導を行っている。教育の軸は「成長実感型」だ。一人ひとりの成長を「見える化」するため、オリジナル教材の「成長度MAP」アプリを導入。生活面や学習面の「今」をアプリに記録することで、成長を実感し周囲の人たちと共有することもできる。そして、第一学院では教員を「先生」ではなく「仲間」「同志」という意味の「フェロ」と呼び、生徒をプラス思考に変える「プラスサイクル指導」を行っている。一生つきあっていく「自分」と向き合い、自分を意欲喚起する力を身に付け、生徒本来の成長を促していく。



一人ひとりの成長を「見える化」するため導入されている「成長度MAP」アプリの画面

「先生」ではなく「仲間」「同志」という意味の「フェロ」と呼び、生徒をプラス思考に変える「プラスサイクル指導」を行っている。一生つきあっていく「自分」と向き合い、自分を意欲喚起する力を身に付け、生徒本来の成長を促していく。

## 日本代表として活躍するOBたち

第一学院の卒業生たちは、世界を舞台に活躍している。東京五輪代表には、サッカーではDF酒井宏樹、MF久保建英が出場し、それぞれゴールを挙げるなど大活躍。水球では稲場悠介が、女子スケートボードではカリスマ、西村若莉が出場した。

Jリーグ川崎F所属のDF山根根視は、3月の国際Aマッチ韓国戦で日本代表に選出され、初出場初ゴールを決めた。山根はサッカー部に所属し、同校のホームページで「サッカーをメインにした高校生活を送れて良

## OB酒井・久保応援 7・28日本VS仏戦オンラインPV「ハラハラドキドキを共有できて楽しい」

卒業生を応援しようと、7月28日に行われた東京五輪サッカー予選リーグ日本対フランスの試合で、オンラインパブリックビューイング（写真）が行われ



た。生徒各自がテレビで観戦しながら、Zoomを使って全国の仲間とつながり、チャットを通して応援しようという企画だった。試合はOBの酒井、久保が先発出場し、ともに得点を挙げた。チャット上では「ハラハラドキドキを共有できて楽しい」「皆で応援できるの最高！」などの文字が飛び交い、喜びを分かち合っていた。

## オリジナルアプリ導入し成長を「見える化」、周囲と共有できる

毎日通学したりオンラインとの組み合わせもできるなど、自分のペースに合わせて高校卒業を目指すことができる。「標準コース」の他に、自分の興味関心や将来の目的に合わせて学ぶことができる「特別進学コース」「総合コース」「高大一貫コース」「特化コース」も用意している。また専門分野では「芸能」「スポーツ」「ペット」「美容」「eスポーツ」などのコースがある。スポーツコースにはサッカー部のほか、東京五輪で正式種目となったスケートボード部、来年の冬季五輪種目でもあるスノーボード部がある。そのほか、好きな時に好きな場所で学べるオンラインコース「Mobile High School」もあり、さまざまなライフスタイルに合わせた学びを実現できる。高校卒業後の「先」も、ともに考えていく。一人ひとりの夢や目標の実現、25歳の進路の定着につなげるためのサポートも充実している。2021年の実績では、943人が大学等に進学、専門学校等に970人、就職が520人となっている。グループには「新潟産業大学」「ネットの大学」「Eisaku」「第一学院高等学校専攻科」「第一学院オンラインカレッジ」の進学先もあり、高校卒業をゴールとせず、「社会で活躍できる人づくり」にグループ一丸となって取り組んでいる。一人ひとりに寄り添い、それぞれのライフスタイルに合わせた学びの場を提供し、成長を実感できる。第一学院で、高校時代という貴重な時間を過ごしてみたいか